

# 合意 形成

## パートナーシップで計画づくり

里地づくりを実現するには、住民が自主的・主体的に活動を行うことが大切です。そのためには、主体である住民自らが地域のビジョンや計画を立てること、役割分担と責任意識を醸成すること、自主性を引き出し持続させる仕組みと支援施策を伴うことです。

事例 北海道標茶町しべちやちやう

### 1A1P運動(村づくり計画)(注)

北海道標茶町では、30年程前から地域の範囲、地域のビジョン、住民と行政との役割分担を住民自身が決定し、ビジョンに即した実施計画を立てています。

この、一つの地域(Area)に一つの誇り(Pride)を持つ計画づくりでは、以下の3つの柱を立てる過程自体が重要な合意形成の場となっています。

#### 北海道標茶町虹別地区の場合

地域の理念(地域のC=Community Identityの確立):

私たちは、農村がまるごと公園のような地域を目指す。

行動指針(基本目標):

虹別の人たちが主人公の地域づくりを目指す

具体的な取組と役割分担:

基本目標達成のため、次のような事業を官民そろって推進する。

農村公園づくり

農村公園づくりの支援策を検討する……(国・県)

計画の予算化を図る……(町)

資材の提供を行う……(町)

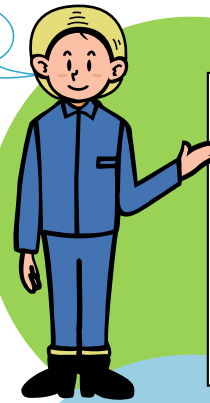
重機と労働力の提供を行う……(地域)

芝生の維持管理を行う……(個人)



標茶町の虹別地区は、農家各戸の農村公園づくりを計画。看板は町が負担し、作業は農家・住民で行なった

私たちは



**地域の理念(地域のCの確立)**

私たちは、…で…のような地域を目指す。

**行動指針(基本目標)**

の地域づくりを目指す。

**具体的な取組と役割分担**

基本目標達成のため、次のような事業を官民そろって実施する。  
の地域づくり。

|    | 2003年 | 2004年 |
|----|-------|-------|
| 国  |       |       |
| 道  |       |       |
| 町  |       |       |
| 地域 |       |       |
| 個人 |       |       |

役割分担と優先順位を決める。

この基本計画に沿って年次別計画を作成し実行計画を立てる。この際、役割の分担、年次計画、優先順位などを整理することが実現の早道

検討会議では、以下の要素等の検討を行う。

力強い地域産業

地域の自信、誇り

生活環境



アンケートの内容は、住民の意識、関心や参加を促すよう配慮されている。

自慢、良いところ、悪いところ

10年後の姿

必要なこと、もの、いらぬもの、こと

技能、特技

今、困っていること

今、やりたいこと



事例 鳥取県智頭町<sup>ちづちょう</sup>

日本ゼロ分のイチ村おこし運動  
(村づくり計画)

鳥取県智頭町では、字(あざ)単位の100地区それぞれが、10年先の夢を描き、各年度の活動内容を決定する計画づくりを行っています。



地域の素材を出し合う

村づくり計画の作り方例

鳥取県智頭町早瀬集落の場合

アンケートと話し合いでアイデアを出す

早瀬のキラッと光る素材を出し合う

皆の意見をカードに書き、細分類する

模造紙にカードを張り、全ての意見をリストアップする。

四面会議図を作成する

「交流・情報」「住民自治」「地域経営」「ハード」に分類する。

キーワードを探す

自らの一歩で踏み出せる種になり、10年後に実りになるものなどの項目で検討する。

シナリオ書きをする

上記の光る素材を基に、連想ゲームでシナリオを描く。

大柱と中・小骨(柱)をつくる

シナリオを決定した後、10年後に目指すものを設定する。3~5年間の達成点を話し合う。

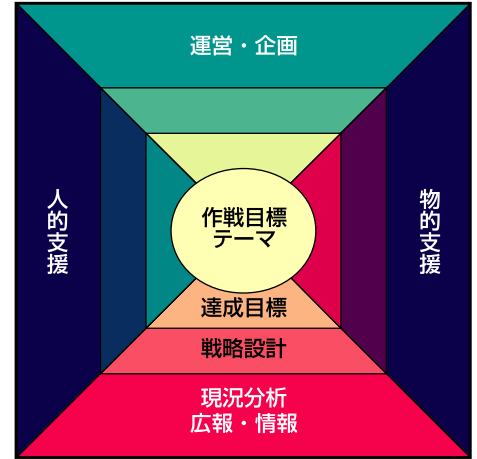
町の認定法人への申請手続き

事業内容を決定し、町の様式に沿って計画書などを作成する。作成した計画書を役員会にかける。

10年後の早瀬の夢を描く

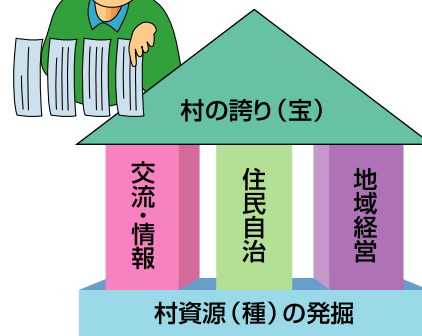
有志10人で、現時点のイラストと、10年後の絵を作る。

**計画書に基づき実践!**



四面会議図(戦略マップ)

みんなでキーワードを短冊に書いてみよう



開かれた地域の象徴として建てたあづま屋で地域づくりを語る



計画に合わせ体験交流農園を通して人形浄瑠璃を復活させた